琉大病院 HOTLINE

University of the Ryukyus Hospital

健康と元気のある
社会をめざして

第74号

令和２年７月15日
発行
病院広報委員会

皆様の情報誌です。ぜひ、ご家庭にお持ち帰りください。http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/

大屋 祐輔

病院長

イベント

「琉球大学病院」看板除幕式を開催しました

令和２年４月１日、琉球大学病院玄関前において、関係者による「琉球大学病院」看板除幕式を開催しました。

今回の式典は、昨今の新型コロナウィルスの感染拡大防止のため、関係者のみに限定して開催されました。

本式典は、同日付で、琉球大学医学部附属病院の名称を、「琉球大学病院」へ変更したことから、本院の玄関に新たに看板を設置し、そのお披露目として開催したものです。

この度の病院の名称変更は、医療の質と安全性の高い医療を提供するための病院ガバナンス改革の一環としてなされたものであり、これまでの医学部の附属施設としての位置づけから、大学附属病院に変更され、病院の機能強化が一層推進されることが期待されます。

式典では、始めに出席者の紹介が行われ、本学の西田睦学長と大屋祐輔病院長による新看板の除幕が執り行われました。

琉球大学病院は、１９７０年の開設から、今年で５０周年の節目を迎えることとなります。新しい名称とともに、県民の皆様から愛される病院となるよう日々精進してまいります。

除幕の様子　右：西田学長　左：大屋病院長

新しい看板の前にて　学長と病院関係者

就任の挨拶　医療の質の向上をめざして

平田 哲生

副病院長
診療情報管理センター長

令和２年４月１日に医療の質担当の副病院長に就任しました診療情報管理センターの平田哲生です。これまでは、診療情報管理センター長として患者さんの診療録（カルテ）の点検・管理、病院情報システム（電子カルテ）の開発・管理など主に担当してきました。この業務の一環として、当センターでは毎日カルテの内容をチェックしています。診察、検査を行った記録の有無だけではなく、医療従事者が患者さんへ説明した文書とカルテへの記録があるか、その内容は適切であるかなどに関しても監視し、不備な点に関しては改善を促しています。これらのことにより患者さんの立場に立った、安心、安全な医療の提供に貢献しています。

また、患者さんを含めた県民の皆さんにも琉球大学病院に関するいろいろな指標を公開しています。病院ホームページの「病院情報」http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/information/byoin-jyohou.html のページを一度ご覧になって下さい。琉球大学病院がどのような医療を行っているのかデータで確認することができます。この指標を元に私たちはさらに改善を行うよう努力しています。

患者さんは琉球大学病院に最善の医療を求めて来院していることと思います。当院では患者さんに満足して頂けるように日々努力をしておりますが、さらに医療の質を向上することを目的として「医療の質向上対策室」を本年３月に設置しました。医療で最も大切なのは安心で安全な診療を提供することです。これに加えて今後はさらに質の高い医療の提供を推進し、沖縄県の医療に貢献して参りたいと思います。皆様のご支援を御願い申し上げます。

就任の挨拶　県民の口の健康維持のために

中村 博幸

歯科口腔外科長

はじめまして。琉球大学病院歯科口腔外科長を拝命いたしました、中村博幸と申します。

最近の日本の超高齢化に伴い歯科へのニーズは劇的に変化しています。これまでの歯科に加えて、お口の健康から全身健康に寄与する歯科医療、さらに医科と連携しながら急性期、回復期、維持期、在宅介護そして終末期医療をサポートする口腔機能管理ひいては栄養・感染管理に関わる歯科医療が求められています。歯学部のない沖縄県では琉球大学病院歯科口腔外科が唯一の歯科医療教育機関であり、このような時代のニーズの変化に対応した医師、歯科医師を輩出することが大切です。琉球大学病院は、医師と歯科医師の両方を教育することから、医科歯科連携の推進において最適の場所であり、この利点を最大限に活用していきたいと思います。

また、沖縄県の永久歯むし歯罹患本数は全国最多です。その背景には、個人・地域格差による歯科衛生管理の不足などが理由であるとされています。また、咬む力や舌などのお口の健康維持は超高齢社会で満足な生活を過ごすためにも重要です。県民の生活向上のためには、お口の健康を維持できるような環境・仕組みを地域と一体となって推進しなければなりません。今後は、地域医療、行政との連携体制を構築し、対話からニーズを丁寧にもれなく抽出することにより、琉球大学病院に求められている役割を懸命に果たしていきたいと考えています。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

トピックス

沖縄県第1号の第1種滅菌技師が誕生しました
－材料部は、「縁の下の力持ち」－

徳田 京美
材料部 看護師

「第 1 種滅菌技師」「第 2 種滅菌技士」を聞いたことがありますか？「滅菌技師 / 士」を初めて聞いた方も多いのではないでしょうか。

医療施設では、治療（処置）や手術などで様々な医療器材を使用しています。例えば、ピンセットやはさみ、内視鏡手術やロボット手術で使う精密な器具などがあります。これらの医療器材は材料部などと呼ばれる部門に運ばれ、「洗浄・滅菌」という再生処理を行い、再利用できるようにします。そこで、重要になってくるのが、洗浄・滅菌の品質管理です。洗浄や滅菌は、機械に入れればできているかというと、そうではありません。家庭では、食器洗い機がよく使われますが、乾燥した米粒や汚れが残ったままだったという経験はありませんか？また、電子レンジでチンしたらちゃんと温かくなっているかというと、ムラがあることがあります。同じようなことが医療器材の洗浄や滅菌でも起こります。このようなことが起きないために、洗浄方法や機器類の選択、洗浄や滅菌ができているか検査をしたり、より効果的に洗浄・滅菌するための方法を検討するなど品質管理を行う必要があります。これらを管理できるのが、日本医療機器学会が認定する「滅菌技師 / 士」です。

琉球大学病院では、第 1 種滅菌技師 1 人、第 2 種滅菌技士 5 人が所属し、患者さんへ安全に安心して医療器材を再使用できるよう、専門的な知識と技術をもって洗浄・滅菌を管理しています。特に、当院では洗浄後の医療器材の目視点検に力を入れており、汚れや錆などがないかひとつひとつ確認をしています。また、はさみならばきちんと切れるかテストをするなど、性能検査にも力を入れています。どんなに素晴らしい処置を行ったとしても、使用する医療器材が適切な滅菌がされていなかったり、適切な性能がないと効果は発揮できません。

医療器材の再生処理を行う材料部は、目立たない場所で業務を行っています。材料部って何をするところ？と医療施設内でも、認知度がまだまだ低い部門です。しかしながら、“ 材料部の機能が停止をすると、病院の機能も停止してしまう ” というくらい、「重要な部門」であり「縁の下の力持ち」のような役割を果たしています。

このような部門で業務を担うことに誇りを持つと同時に、大きな責務を感じています。沖縄県第 1 号の第 1 種滅菌技師として、これからがスタートだという新たな気持ちでいます。日進月歩する医療の発達（医療器材の発達）と共に、知識と技術を学び、医療器材の向こうには、使用する医療者と使用される患者さんがいることを思い、安全な器材を提供できるよう役割を担っていきたいと思います。

トピック　琉球大学病院で初の生体肝移植を行いました

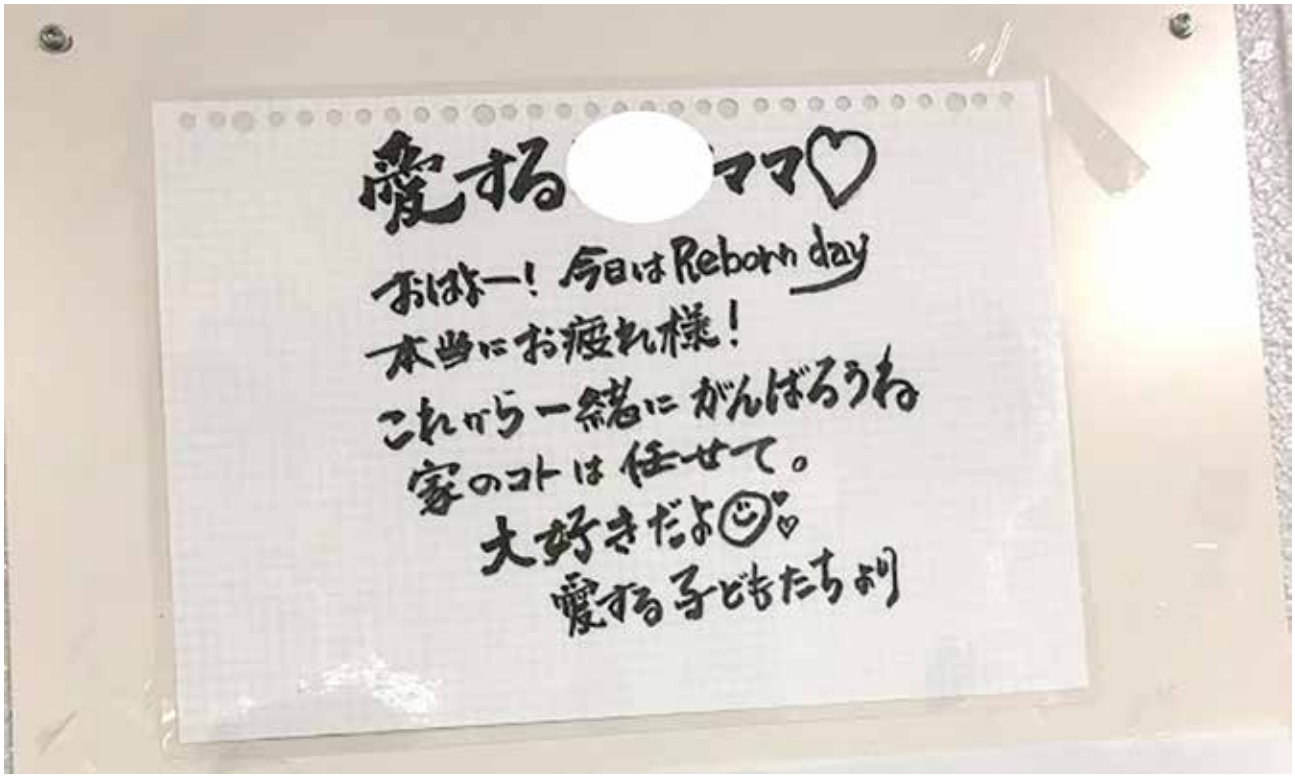
高槻 光寿
第一外科長

本年３月、琉球大学病院で第１例目となる生体肝移植を行い、患者さんが無事に退院されました。40 代の若い女性の方で、原疾患は原発性胆汁性胆管炎（PBC）と呼ばれる難治性の肝疾患で最終的に肝硬変となり、黄疸が強く予断を許さない状態と診断され、50 代の旦那様が肝臓の一部（肝右葉：全体の 65% 程度）を提供されて移植手術を行いました。手術時間は約 10 時間、自身の肝臓を全て取り出して旦那様の肝臓を移植し、すぐにいただいた肝臓が働いて順調に回復しました。血液型が旦那様は A 型、患者さんは O 型と異なる組合せでしたが、抗体を産生する B リンパ球の機能を抑える薬剤（リツキサン）を術前に投与することにより、全く拒絶反応を起こすことなく経過しました。

手術直後は ICU に入りましたが、すぐにリハビリできるようになり、２週間で肝機能の数字が正常となり、３週間でご家族とともに元気に退院されました。退院後も自宅で元気に過ごされており、手術の前は黄疸と身体のだるさでつらかったようですが黄疸もとれ、「身体がとても軽くなった、マラソンも走れそう。」と笑顔で話されています。肝臓を提供されたドナーの旦那様も手術後 10 日で退院され、社会復帰されています。肝臓も順調に再生し、肝機能も問題ありません。

生体肝移植は日本では 1989 年に開始され、現在までに全国で 9,000 名以上の患者さんに行われて保険も適用される一般的な治療となっていますが、沖縄では数件しか行われていませんでした。琉球大学病院でも今まで 70 名以上の患者さんを県外の大学病院に送って手術してもらっていましたが、これからは自施設でできるようになり、患者さんの身体的・経済的負担が軽減されると期待しています。

肝硬変の患者さんを診療されている医療関係の方や、肝臓が悪いと言われている患者さん・ご家族からのご相談はいつでも受け付けておりますので、ご連絡ください。



お知らせ

理念及び基本方針・患者さんの権利と責務について・子どもの患者権利憲章を変更しました！

令和２年４月１日、琉球大学病院の名称変更に併せて「理念及び基本方針」と「患者さんの権利と責務について」の文章を変更いたしました。 今後もより一層の地域貢献と患者さんを中心とした「安全・安心・思いやり」に基づくより良い医療を目指しております。

琉球大学病院　理念及び基本方針

理　念

病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、地域・社会に貢献する優れた医療人を育成する。

基 本 方 針

1　生命の尊厳を重んじた人間性豊かな医療の実践
2　地域の医療・保健・福祉に対する貢献
3　先端医療技術の開発・応用・評価
4　専門性及び国際性を備える優れた医療人の育成
5　働きやすくやりがいのある職場環境の整備

患者さんの権利と責務について

琉球大学病院では、患者さんを中心とした「安全・安心・思いやり」に基づくより良い医療を目指しております。患者さんとの深い信頼関係の上に成り立つ医療の大切さを十分に理解するとともに、患者さんには一人一人に次のような権利と責務があることを確認いたします。

【患者さんの権利】

1. あなたは、どんな場合でも、一人の人間として大切に扱われる権利があります。
2. あなたは、どのような境遇、環境であっても、専門家による平等で良質な医療を受ける権利があります。
3. あなたは、病気のことや治療について十分に教えてもらう権利があります。
4. あなたは、治療について意見を述べる権利と選択できる権利があります。
5. あなたは、あなた自身の話したこと、病気、身体について、知られたくないことを守られる権利があります。

【患者さんの責務】

1. 最善かつ適切な診療を行うために、あなた自身の健康状態についてできるだけ正確に伝えてください。
2. 主治医や担当医の治療や退院計画に主体的に取組み協力してください。
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、病院の規則に従い、医療の妨げとならないように協力してください。特に攻撃的な態度や暴言、乱暴な行為は謹み、施設の所有物を大切に使うようにしてください。

平成 22 年 8 月制定　令和 2 年 4 月 1 日一部改正

琉球大学病院　「子どもの患者権利憲章」

1. 子どもの患者さんは、いつでもひとりの人間として大切にされます。
2. 子どもの患者さんは、どんな病気であっても、もっともよいと考えられる診療を受けることができます。
3. 子どもの患者さんは、病気のことや病気を治していく方法について、それぞれの年齢や理解度にあわせて、十分な説明を受けることができます。
4. 子どもの患者さんは、病気のことや病気を治していく方法について、自分の考えを病院の人やご家族に伝えることができます。
5. 子どもの患者さんは、自分の健康について自分で決められないとき、子どもに代わってご家族に決めてもらうことができます。
6. 子どもの患者さんは、不安なことやわからないことがあるときは、病院の人やご家族に話したり、聞いたりすることができます。
7. 子どもの患者さんは、からだや心の成長や発達に必要なことを病院の人からケアを受けることができます。
8. 子どもの患者さんは、親または親に代わる人と一緒に過ごすことができます。
9. 子どもの患者さんは、年齢や症状にあわせて、遊び、レクリエーションに参加し、教育を受けることができます。
10. 子どもの患者さんのプライバシーは、いつでも守られます。

トピック　本院及び病院スタッフ支援へのお礼について

新型コロナウイルス感染症への対応に関して、多くの個人や事業者の方々から、本院及び病 院スタッフへ、マスクやフェイスシールド等の衛生物品をはじめ、スタッフの体調を気遣った 飲み物や食べ物の差入など、多くのご支援を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

皆様の病院スタッフへの心あたたかな思いが、現場で頑張っている職員に伝わり、たくさん の愛と勇気と元気を与えてくれました。

職員一同、気持ちを一つにして県民の皆様を支え続けてまいりますので、今後ともご支援並びにご協力賜りますようお願い申し上げます。

2020 年 4 月 病院長　大屋　祐輔

お知らせ　患者・ご家族の皆さんへのお願い

患者・ご家族の皆さんへお願い

現在、医師をはじめ、医療従事者の長時間におよぶ過重労働が大きな社会問題となっております。

このことを踏まえ本院では、患者さんへ提供する医療の質と安全を確保する観点からも、医療従事者が疲弊せずに働けるよう、時間外労働の縮減に取り組んでいます。

この取組のひとつとして、

緊急ではない場合の病状説明等は
原則、平日の診療時間内
８：３０～１７：１５

といたします。

今後も、病める人の立場に立った安心・安全で信頼される医療を提供することに努めて参りますので、皆さんのご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

琉　球　大　学　病　院

確認重要!!

あなたのために

姓と名
生年月日

何度も聞いて
ごめんなさい。

安全管理対策室

専門外来診療日割表

（受付時間　午前 8 時 30 分～午前 11 時：予約がある場合は、その限りではありません。）　令和 2 年 7 月 7 日現在

診療科	専門外来	月	火	水	木	金	備考
第一内科	感染症内科	●	●		●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	呼吸器内科	●	●		●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） 肺腫瘍：火・金曜日 （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	消化器内科（消化管）	●	●		●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る）（院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約） 糞線虫外来：木曜日
	〃（肝臓）	●	●		●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	〃（胆道・膵臓）	●					新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
第二内科	膠原病・リウマチ内科	●	●	●		●	新患は要紹介状、院外は要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	血液内科（骨髄移植外来含む）		●	●		●	
	成人 T 細胞白血リンパ腫 (ATL)		●			●	
	肥満症（生活習慣病）		●	●		●	
	糖尿病・代謝内科	●	●	●		●	糖尿病外来は専用フォーム有 （月曜日は、院内入院糖尿病患者の紹介のみ）
	インスリンポンプ外来（CSII/SAP）	●	●				
	内分泌内科	●	●	●		●	
	骨粗鬆症・男性更年期 (LOH)		●	●			
	女性医師による女性外来	●	●	●		●	
第三内科	脳神経内科	●		●	●		新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	高血圧・腎臓内科	●		●	●	●	
	高齢内科			●	●		
循環器科	循環器内科	●		●	●		新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
第一外科	上部消化管外科	●		●			新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約） （乳幼児、学校健診も含む）
	下部消化管外科肛門外科			●	●		
	新患・移植			●	●		
	肝胆膵外科	●		●	●		
	乳腺・甲状腺外科	●		●			
	小児外科	●		●			小児外科は午後のみ
第二外科	呼吸器外科		●		●		新患は要紹介状 呼吸器外科：原則要予約（医療福祉支援センター・内線 1371 で予約） 院内紹介は事前に電話相談 血管外科：原則要予約（医療福祉支援センター・内線 1371 で予約） 木曜日は、再来予約のみ
	心臓血管外科		●			●	
	ステント外来		●			●	
	血管外科		●		●	●	
脳神経外科	一般・腫瘍	●		●		●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） 他院・他科からの紹介・予約患者は 10 時～ 11 時に受付 院外からの紹介は医療福祉支援ｾﾝﾀｰ・内線 1371 で予約、 院内からの紹介は脳外科外来受付 (月・水・金) 内線 1307 で予約 緊急を要する患者は医局 1171 または病棟 3801 へ連絡し当日の当直 (担当医) が対応します。
	脳血管障害	●		●		●	
	新患・再来	●		●		●	
	神経心理	●		●		●	
	ニューロリハビリ	●		●		●	
	言語リハビリ	●					
整形外科	脊椎・脊髄	●		●		●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	骨・軟部腫瘍			●		●	
	股関節・人工関節（股・膝）	●				●	
	リウマチ・足・足関節			●		●	
	スポーツ・膝	●		●		●	
	スポーツ・肩	●		●			
	手外科（上肢先天疾患）	●		●			
	小児整形	●		●		●	※乳児股関節の精密検査は要予約　整形外来内線 1301 で予約
	骨粗鬆症	●		●		●	※診断書作成に関する身体計測の依頼は月曜日午後（要確認）
形成外科	新患・一般再来（午前）		●		●		新患は要紹介状
	※形成一般（午後）	●					
	再建外来（術前）（午後）				●		
	※リンパ浮腫外来（午後）				●		※リンパ浮腫外来は、第 1 から第 4 木曜日のみ
	耳のかたち外来（午後）				●		・耳のかたち外来は、第 2、第 4（木）のみ
産科婦人科	新患	●		●		●	**【婦人科・生殖不妊・内分泌・骨粗鬆症】** **新患は、要紹介状・要予約** （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	産科	●		●		●	
	婦人科	●	●※	●	●※	●	**【産科】紹介状有りが望ましいが、科の特殊性として紹介状なしでも診察します。** ※火曜日・木曜日：予約再来のみ
	生殖不妊・内分泌・骨粗鬆症	●		●		●	
小児科	新患・一般再来	●		●	●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	腎臓	●			●		
	アレルギー	●					
	内分泌			●	●		
	遺伝・先天代謝異常			●			小児循環器専門医は不在
	神経	●			●		
	新生児	●				●	
	血液（移植外来）			●		●	
	膠原病	●				●	
	長期フォローアップ外来					●	※第 2、第 4 週　金曜午後（院内患者のみ）
皮膚科	皮膚科		●		●	●	新患は要紹介状
	皮膚外科		●		●	●	
	乾癬		●				
	強皮症・皮膚筋炎		●		●		
腎泌尿器外科	腎泌尿器外科	●	●			●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は、医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	再来	●	●			●	
	小児泌尿器外来	●					小児泌尿器外来：月曜日午後（予約再来のみ） 〃　：金曜日午前（新患のみ）
	腎移植外来（午前　新患）	●					腎移植外来：午前は新患のみ、午後は再来
	腎移植外来（午後　再来）	●	●				
耳鼻咽喉科	新患	●		●	●		新患は要紹介状 院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	甲状腺・頭頸部腫瘍	●		●	●		
	鼻副鼻腔・アレルギー	●		●	●		
	中耳炎・難聴・めまい・顔面神経	●		●	●		

次ページに続く

専門外来診療日割表

（受付時間　午前８時30分～午前11時：予約がある場合は、その限りではありません。）　　令和２年７月７日現在

耳鼻咽喉科	人工内耳			●			
	幼児難聴・補聴器	●		●	●		
	口腔咽頭・唾液腺	●		●	●		
	音声・嚥下	●		●	●		
	頸部エコー外来	●		●	●		
	アレルギー・免疫治療外来				●		アレルギー・免疫治療外来：予約再来のみ
眼科	緑内障	●		●			新患は予約制・要紹介状
	小児眼科			●			
	網膜硝子体		●		●		
	角膜	●					
	神経・腫瘍・ぶどう膜	●		●			
精神科神経科	新患		●		●	●	新患は予約制 （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約） （医療機関からの申込みに限る） （院内他科通院中の方は当科外来受付・内線1306で予約） ※紹介状も必要です。 「光トポグラフィ外来」の予約、申込みは紹介元医療機関から医療福祉支援センターFax（098-895-1498）にて
	一般再来		●		●	●	
	児童・思春期外来	●					
	光トポグラフィー外来	●	●		●	●	
	睡眠外来					●	
認知症疾患医療センター	ものわすれ診断外来		●			●	新患は要紹介状 原則予約制。予約は認知症疾患医療センター：895-1765
放射線科	放射線診断・IVR			●		●	**新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る）** （院外からの紹介は医療福祉支援センター内線1371で予約） **他院画像読影依頼は、放射線科医のいない医療機関の取り込み画像のみ可（フィルムは不可）** ※月曜日は緩和治療中心。要事前連絡、院内紹介のみ （連絡先：① 4255　② 4571　③ 3840）
	CTガイド下・PVP			●		●	
	甲状腺・RI			●			
	放射線治療	●	●	●		●	
麻酔科	麻酔科	●		●		●	新患は要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター内線1371で予約）
	ペインクリニック	●		●		●	
歯科口腔外科	新患・一般外来	●	●	●	●		新患は要紹介状 新患・一般外来：月～木曜日
	口唇・口蓋裂	●					
	顎変形症	●					
	腫瘍	●	●		●		
	口腔ケアセンター	●	●	●	●		
リハビリテーション部	リハビリテーション科	●	●	●	●	●	・リハ新患は、月～金（月曜日は検査優先・金曜日は要電話） リハ対象者は、入院患者のみ。以外は電話で要相談。 ・痙縮治療外来：第１・３金曜日の午後（院内紹介のみ）
	心大血管リハ	●	●	●	●	●	・心大血管リハ新患は、院内入院患者のみ。（月～金）
高気圧治療部	高気圧治療部	●	●	●	●	●	1) 要紹介状。要事前電話。要胸写レントゲン（１ヶ月前までのもの：場合により、胸部CTをお願いする事あり） 2) 治療実施の有無や治療予定については、原則、①入院症例：8時３０分　②外来症例：9時３０分で行います。 3) 急がれる場合も電話連絡をお願いします。院外からの場合は、現疾患と関連する診療科への相談を必ず行ってください。各診療科からの紹介の形となります。
血液浄化療法部	血液浄化療法部	●	●	●	●	●	土曜日、祝日通常体制 夜間・日曜日はオンコール体制
地域医療部	地域医療部	●	●	●	●	●	新患は要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター内線1371で予約）
総合診療センター	総合診療科部門	●	●	●	●	●	総合診療科部門は午前のみ　※外来患者のみ 新患は要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター内線1371で予約）
	禁煙外来		●	●		●	火・水・金曜日の午前中・予約制 ※当院通院中の外来患者のみ
	漢方外来					●	第３金曜日の午後のみ　※事前予約が望ましい
	ワクチン外来（感染対策室）		●			●	火・金曜日の午後のみ（インフルエンザワクチンを除く） 予約制。総合診療センター・内線1310で予約 （予約受付時間：月～金曜日の14時～16時まで）
がんセンター	緩和ケア外来（身的緩和部門）	●	●	●	●	●	新患は要紹介状（火・木曜日は予約制）
	緩和ケア外来（精的緩和部門）		●		●		
	がん看護外来	●	●	●	●	●	月・火・木・金曜日　（12：00～16：00）水曜日　（12：00～14：00） 内線4766で予約
救急部	救急部	24時間診療					

本院の理念及び基本方針

理念

病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、地域・社会に貢献する優れた医療人を育成する。

基本方針

1. 生命の尊厳を重んじた人間性豊かな医療の実践
2. 地域の医療・保健・福祉に対する貢献
3. 先端医療技術の開発・応用・評価
4. 専門性及び国際性を備える優れた医療人の育成
5. 働きやすくやりがいのある職場環境の整備

患者さんの権利と責務について

琉球大学病院では、患者さんを中心とした「安全・安心・思いやり」に基づくより良い医療を目指しております。患者さんとの深い信頼関係の上に成り立つ医療の大切さを十分に理解するとともに、患者さんには一人一人に次のような権利と責務があることを確認いたします。

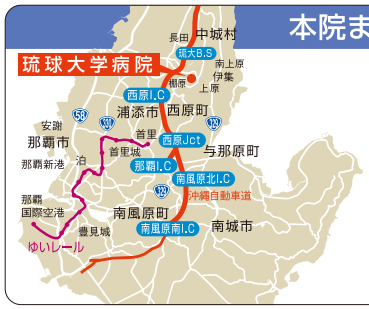
●患者さんの権利●

1. あなたは、どんな場合でも、一人の人間として大切に扱われる権利があります。
2. あなたは、どのような境遇、環境であっても、専門家による平等で良質な医療を受ける権利があります。
3. あなたは、病気のことや治療について十分に教えてもらう権利があります。
4. あなたは、治療について意見を述べる権利と選択できる権利があります。
5. あなたは、あなた自身の話したこと、病気、身体について、知られたくないことを守られる権利があります。

●患者さんの責務●

1. 最善かつ適切な診療を行うために、あなた自身の健康状態についてできるだけ正確に伝えてください。
2. 主治医や担当医の治療や退院計画に主体的に取組み協力してください。
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、病院の規則に従い、医療の妨げとならないように協力してください。特に攻撃的な態度や暴言、乱暴な行為は謹み、施設の所有物を大切に使うようにしてください。

本院までの交通機関



●那覇バス
所要時間：那覇バスターミナルより本院まで約50分

97番　琉大線

経路：那覇バスターミナル～牧志～儀保～琉大病院前～長田～中部商業高校前～琉大北口

タクシー・乗用車での所要時間

●那覇市街より約25分　●沖縄市街より約20分

●那覇空港より約35分　●モノレール首里駅から10分

※モノレール儀保駅からバス（97番）で30分

琉大病院ホームページが携帯サイトからも閲覧できます。

携帯用QRコード
au　docomo　SoftBank

ボランティア募集

本院では、一般の方からの病院ボランティア（外来ロビーでの案内・補助等）を広く募集しております。
空いている時間を利用して、一緒に参加してみませんか？
まずはお気軽にご連絡ください。
【連絡先】総務課（098-895-3331（内線：1006）

琉球大学病院

http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/

電話（098）895-3331（代表）
医療福祉支援センター（内線1371）
〒903-0215 沖縄県西原町字上原207番地